

形式言語理論 (0510002) 第 13 回講義 ハンドアウト (2019/1/11)

蓮尾 一郎 (国立情報学研究所)
<http://group-mmm.org/~ichiro>

1 今回の講義の内容

Turing machine について、そののち、質問タイム。

1.1 今後の予定

- 2019.1.11 (Fri) 講義最終回
- 2019.2.1 (Fri) 期末試験・金曜 4 限, 511 教室 (講義と同じ部屋)
- 2019.3.14 (Thu) 13:00-14:30 追試対策質問セッション
 - 場所: ERATO 蓮尾プロジェクト 竹橋オフィス・地下鉄東西線 竹橋駅直結, アクセス: <http://www.jst.go.jp/erato/hasuo/ja/access.html>
 - 玄関のドアホンを鳴らして, 形式言語理論の受講者であることを教えてください
 - 対象者: 追試該当者を含む全ての受講者
- 2019.3.29 (Fri) 10:25-12:10 追試
 - 本郷キャンパス 理学部 7 号館 102 教室

1.2 期末試験について

過去問を勉強してくるとよいです (教科書の巻末)。要チェックポイント:

- 「アルゴリズムを与えよ」と言われたら, 教科書のアルゴリズム 2.1 (p. 53) のような擬似コード (あるいは一般的なプログラミング言語でのコード) を与えられればいちばん良い。「こうやってこうやって」という自然言語での説明でもまあ良い。ただ, そのアルゴリズム (= 「手順」) は, 何も考えずに実行できるものでなければいけない。
 - 「NFA M が語 w を受理するか判定する」というのはアルゴリズムとは言いがたい。(分岐したときどうする?)
- 「これこれの DFA を与えよ」というふうな問題は, 必ず「最小の DFA を与えよ」という形で出題します。
 - なので, アルゴリズム 2.1 (p. 53) を使えるようになっていないとダメ。

1.3 追試について

- 期末試験の結果単位がとれそうにない人には, 追試を行います。
- 問題は簡単で, 基本がしっかりできていますか見ます。なので, かなりの部分できないと単位はきびしい (8 割が目安)。
- 希望者に対しては, 試験後できるだけ早く講義のウェブページに「いい感じの番号」を掲示します。そこに番号がなかったら, 追試当日の予定は入れないほうがいいかもしれません。